

## JGSDF News Release



<http://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>

(お知らせ)

令和4年7月21日  
陸上幕僚監部

令和4年度米国及び尼国における米尼陸軍との実動訓練  
(ガルダ・シールド22)への参加について

陸上自衛隊は、自由で開かれたインド太平洋地域の維持・強化に資するべく、以下のとおり令和4年度米国及び尼国における米尼陸軍との実動訓練(ガルダ・シールド22)に参加します。 ※ 尼国：インドネシア共和国

1 訓練目的

令和4年度米国及び尼国における米尼陸軍との実動訓練(ガルダ・シールド22)に参加し、空挺作戦に必要な戦術及び戦闘要領並びに日米尼の相互連携要領を米尼陸軍と実行動により訓練し、その能力の維持・向上を図る。

2 期間

令和4年7月26日(火)～同年8月5日(金)

3 場所

- (1) 米国グアム島 アンダーセン米空軍基地及びその周辺
- (2) 尼国スマトラ島 バトゥラジャ演習場及びその周辺

4 訓練参加部隊等

- (1) 陸上自衛隊
  - ア 担任官 陸上総隊司令官 陸将 前田 忠男
  - イ 実施部隊 第1空挺団
- (2) 米軍
  - 第11空挺師団、第374空輸航空団等
- (3) 尼陸軍
  - 第18空挺旅団

5 特色

- (1) 尼国で実施する日米尼陸軍種間の初めての3か国共同による実動訓練
- (2) 尼国での訓練に資するべく、陸上自衛隊、米陸軍及び尼陸軍が米国グアム島に集結し、3か国共同により機能別訓練等を実施
- (3) その後、米空軍機により米国グアム島から尼国へ長距離の空中機動を行い、尼国バトゥラジャ演習場において空挺降下から地上戦闘までの一連の行動を演練し、空挺作戦に必要な戦術及び戦闘要領並びに日米尼の相互連携要領を向上

## 6 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 本訓練に参加する隊員は、防衛省・自衛隊が定める方針に基づき必要な感染症対策を講じるとともに、3回目のワクチンを接種した隊員が参加
- (2) 隊員は、出国に際しては、各駐屯地出発前にPCR検査等を受検し、陰性の者のみ訓練に参加。また、帰国に際しては、出国前にPCR検査を受検するとともに、検疫所の指示に従い、必要な措置を実施
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる隊員が発生した場合は、PCR検査の受検、濃厚接触者と疑われる者を特定・隔離する等、感染拡大を防止